

# 作曲の呼びかけ

## 「謙信公賛歌」と「乾杯！上越」

「上越には多くの民謡や雪の歌がありますが、お隣の武田節のようなごぶしの効いた歌が欲しい」と前の会報に玉井輝さんから寄稿が載せられておりました。運営委員会では、毎月「お元氣ですか」に「徒然道草」をお書きになっている杉臣武さんに作詞をお願いしたところ以下の素晴らしい歌詞二点ができあがりました。読みと重みのある「謙信公賛歌」と簡単に口ずさめる「乾杯！上越」です。

ただ残念ながら、作曲を何人かの人にお願ひしたのですが、うまく話が進んでおりません。皆様の中に、あるいはお知り合いの中に、作曲に興味があつて引き受けて下さるお人を「存じないでしよ

うか。上越の醸造元さんの観光用・進物用のお酒や杯とセットで提供するなど、多くの利用が期待されると思います。また

完成の暁にはJネットから市長に献呈し、上越の合唱団で披露したいとも考えております。作詞の杉臣さんの言葉です。皆さんのご協力をせつにお願ひいたします。

### 謙信公賛歌

杉臣 武

一 群雄きそう日の本に  
その名とどろく越の虎  
命をかけた義の一字  
毘沙門天に誓うかな

二 情け無用の戦国に  
刃まじえる敵なれど  
民の嘆きを如何にせん  
情けの塩に敵も泣く

三 川中島の霧晴れて  
車がかりの陣太鼓  
強者どもよ奮い立て  
雌雄決する時は来ぬ

(詩吟)

鞭声肅々夜河を渡る  
暁に見る千兵の大牙を擁するを  
遺恨十年一剣を磨く  
流星光底長蛇を逸す

四 風さえ光る城跡に  
おもかけ映す馬上杯  
民を愛して義に生きた  
謙信しのび酒を酌む

### 乾杯！上越

杉臣 武

一 春の上越 お堀のさくら  
日本一のお堀のさくら  
円く輪になれ 乾杯しよう  
乾杯！ 乾杯！ もう一回！  
それ もう一回！  
妙高山も 笑つてる

二 夏の上越 花火があがる  
祭り太鼓に 花火があがる  
ビール冷えたか 乾杯しよう  
乾杯！ 乾杯！ もう一回！  
それ もう一回！  
三日月さんも 笑つてる

三 秋の上越 稲穂が揺れる  
山の棚田の 稲穂が揺れる  
豊作祝え 乾杯しよう  
乾杯！ 乾杯！ もう一回！  
それ もう一回！  
流れる雲も 笑つてる

四 冬の上越 雪降りつもる  
いで湯の郷も 雪降りつもる  
熱燗頼むよ 乾杯しよう  
乾杯！ 乾杯！ もう一回！  
それ もう一回！  
窓で雪ん子 笑つてる

